

シングルマザー家庭の困窮

非正規雇用で働くシングルマザーが多い中での保育園の休園がさらなる家庭の経済に打撃を与えました。夕食は子どもだけという事態も起きたからです。それでも夏休み明けの子どもたちの体重は減ったという調査結果も公表されています。

ジェンダー平等社会の実現に向けて

SDGsには「ジェンダー平等」は人権問題として掲げられています。コロナ禍で生理用品を無料で配布する自治体の取り組みが始まっています。生理の貧困を持続可能な問題として対応を継続してほしいと思います。また女性が担わされてきた無償労働を見直す観点から、家事労働や介護ケアをする人への年金保険料無料化や、親自身が保育士として地域の子どもを世話する「親保育所」とすることを提案する研究者もいます。保育所とする以上は無償ではないはずですが、斬新で目を開かれると思います。

まずはお電話ください

こころの悩みなんでも相談では、女性たちの困窮を自己責任や個人の問題に矮小化することなく、まずは問題を社会が取り組むべき問題であるとする視点から、問題解決に向かって相談者と相談員が共に話し合う相談を行なっています。肩の力を抜いて、しなやかさとタフという力を身につけ、DV夫との離婚を勝ち取った人もいます。まずはご相談下さい。一緒に解決の道を探っていきましょう。



【相談窓口】

★こころの悩みなんでも相談

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/shisetsu/shisetsu/sonota/danjo/sodan.html>...



★LGBT相談

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/shisetsu/shisetsu/sonota/danjo/lgbtsodan.html>...



★性暴力救援センター・SARC東京、性暴力救援ダイヤルNaNa

<https://sarc-tokyo.org>



★よりそいホットライン

<https://www.since2011.net/yorisoi/>



★プロフィール

平川和子 ひらかわ かずこ

東京フェミニストセラピセンター所長

1970年初期から総合病院心理室や精神科クリニックを経て1991年から現職。摂食障害・性虐待・DVなど、女性の生き難さについてカウンセリングを行う。1997年にDV被害女性と子どものためのシェルターを開設。以降2018年まで長期的支援を行う。2012年より被害直後の性暴力被害者への支援を24時間365日行っている。

